

広島市地域公共交通利便増進実施計画（案）の概要

■ 目的

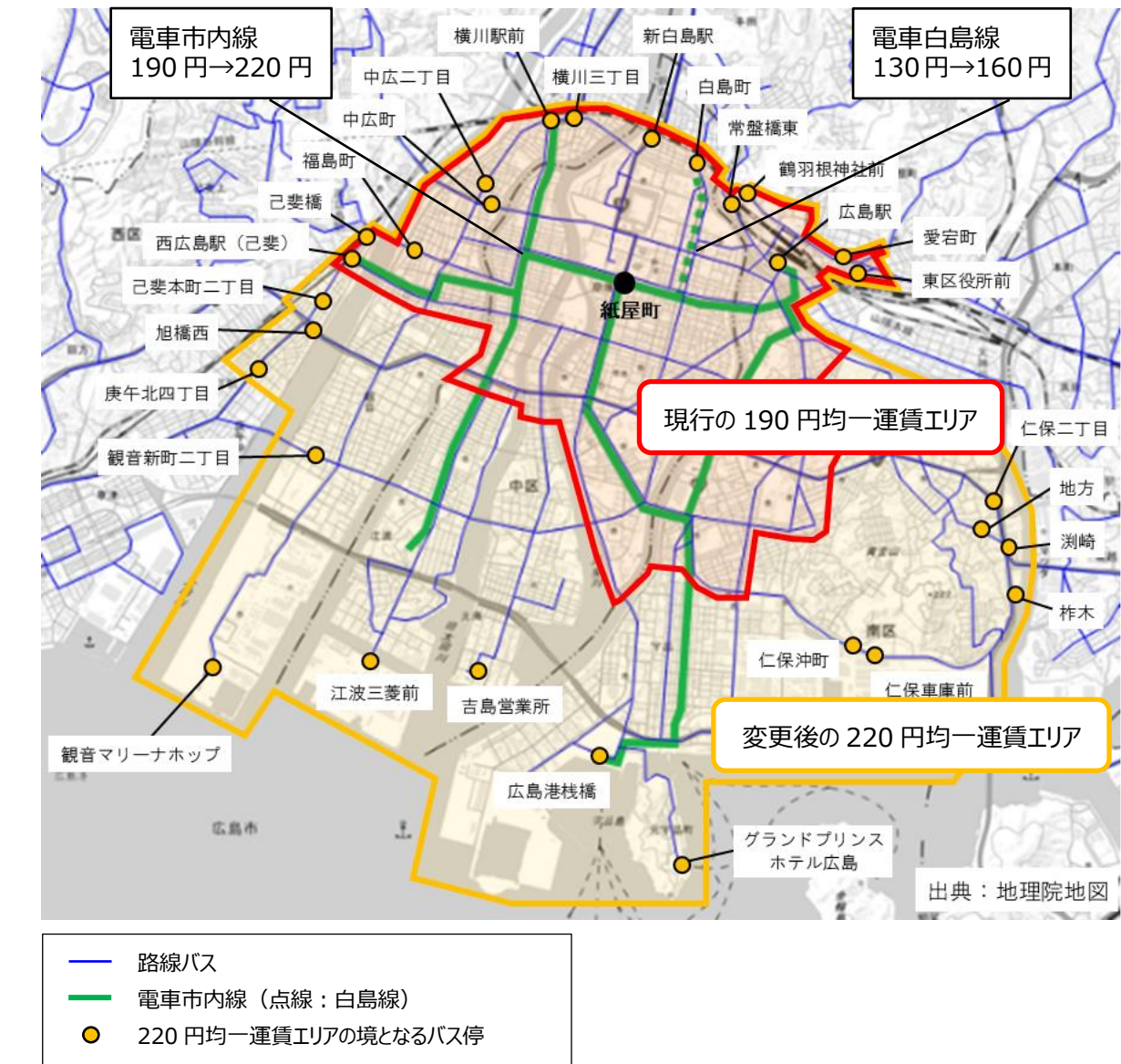
公共交通は、人口減少・少子高齢化の進展や運転者不足の深刻化等により厳しい経営状況下に置かれていることに加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用者が著しく減少しています。さらに、新型コロナウイルスが収束したとしても、利用者が以前の水準に戻ることは考えにくく、将来にわたって公共交通を維持していくことが困難な状況に直面しています。

こうした状況を乗り越えるため、市中心部の交通事業者 7 社により、地域公共交通計画の機能強化策の一つである「わかりやすく使いやすい運賃体系等の構築」につながる取組として、利用者の利便性向上のための「デルタ市街地内の均一運賃エリアの拡大」や「異なる交通モード間での同一運賃の導入」などからなる共同経営の協定が交わされることから、これに合わせて一層の利便性向上に資する乗車券の提供が実施されるよう、市が主体となって利便増進実施計画を策定し、官民の協調により、「利用者にとってわかりやすく使いやすい持続可能な公共交通体系の構築」を進めます。

■ 事業の内容

（１）路線バスと電車の同一運賃化（共同経営による取組）

路線バスの均一運賃エリアを、都心部からデルタ市街地内全域へと拡大するとともに、路線バスと電車の運賃を同一の 220 円とすることで、事業者や交通モードを問わず、状況に応じた移動手段を選択しやすくします。



（２）路線バスと電車の相互利用が可能な乗車券（広島シティパス）の改変

「広島シティパス（均一運賃エリア内の路線バス及び電車を相互に利用可能な乗車券）」の利用可能範囲をデルタ市街地内全体に拡大し、デルタ市街地内の区間定期券の購入者や、定期外の日常的に路線バスや電車を利用する人が、事業者や交通モードを問わず、状況に応じた移動手段を選択しやすくします。

また、学生や障害者・高齢者の負担を軽減するため、新たな割引制度を導入します。

	現 行	改変後
利用可能範囲	190 円均一運賃エリア内の路線バス及び電車市内線	220 円均一運賃エリア内の路線バス及び電車市内線全線
通勤・通学区分	大人（通勤）	大人・小児（通勤・通学）
割引区分	なし	障害者割引、高齢者割引（70 歳以上）
有効期間	1 か月	1・3・6・12 か月
販売金額	大人（通勤） 8,100 円/月	大人（通勤） 8,300 円/月 大人（通学） 6,000 円/月 小児 3,000 円/月 障害者（通勤） 5,810 円/月 障害者（通学） 4,200 円/月 高齢者（70 歳以上） 5,000 円/月

（３）デジタルフリー乗車券の新設

平日の昼間時間帯や土日祝日を対象に、220 円均一運賃エリア内を運行する路線バス及び電車の相互利用が可能なデジタルフリー乗車券を新設します。

これにより、デルタ市街地内の回遊性が向上するほか、普段路線バスや電車を利用する機会が少ない人にも気軽に利用してもらうきっかけづくりとなることなどが期待できます。

利用可能日	利用可能時間帯	販売金額
平日	6 時間有効（10 時～16 時限定）	400 円 小児・障害者は 200 円
土日祝日	6 時間有効（時間帯制限なし）	

■ 事業の実施予定期間

利便増進実施計画が認定された日以降から令和 7 年 3 月 31 日まで